

農業大学校 Q & A

《入学関係》

Q 1 入学金や授業料など、在学中にかかる経費はどれぐらいですか。

	担い手養成科 1 年次	担い手養成科 2 年次
入 学 料	5,650 円	—
授 業 料	118,800 円	118,800 円
教科書費、実習教材費	110,000～220,000 円	45,000～105,000 円
研修旅行積立	50,000 円	—
自治会費、後援会費	50,000 円	50,000 円
合計	334,450～444,450 円	213,800～273,800 円

※令和6年度の経費です。年度で若干変更することがあります。

※教科書費、実習教材費は、コースによって異なります。

なお、各種資格取得経費を実習教材費から支出しますので、卒業時の精算金額は学生により異なります。

※次に該当する方は授業料等（授業料、入学検定料及び入学料）が減免となる場合がありますのでご相談ください。

- ・大学等における就学支援に関する法律による認定（授業料減免対象者の認定）の申請をした方（日本学生支援機構の給付奨学金を申請した方が対象）

Q 2 学校の見学は可能ですか。

令和6年度は、オープンキャンパスを8回開催しますので、是非参加ください。
なお、事前にご連絡いただければご案内します。

Q 3 奨学金などの制度がありますか。

本校は専修学校であり、日本学生支援機構の奨学金を利用できます。

また、卒業後、1年以内に農業経営を開始する又は農産物を生産する会社に勤める等の条件を満たす場合は、「新規就農者育成総合対策（就農準備資金）」の給付を在学中に受けることができます。

林業・造園緑化コースにおいては、卒業後、林業分野へ就業する等の条件を満たす場合は、「緑の青年就業準備給付金」の給付を在学中に受ける事ができます。

《教育関係》

Q 4 農業大学校はどのような種別の学校ですか。

本校は、農業改良助長法に基づく「農業者研修教育施設」ですが、学校教育法に基づく「専修学校」でもあります。

専修学校は、「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図る」ことを目的とする学校であるとされ、実践的な職業教育、専門的な技術教育を行う教育機関として、多岐にわたる分野でスペシャリストを育成しています。

専修学校には、入学資格の違いにより3つの課程がありますが、本校は専門学校の課程に該当します。

これにより、本校に入学すると

- (1) 日本学生支援機構の奨学金を利用できます。
- (2) 卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が与えられます。
- (3) 4年制大学への編入学試験を受験することができます。

Q5 1日の授業時間はどうなっていますか。

区 分	午 前		午 後	
	1時限	2時限	3時限	4時限
開 始	8:50	10:30	13:00	14:40
	↓	↓	↓	↓
終 了	10:20	12:00	14:30	16:10
休 息	10分	60分	10分	—

Q6 どのような科目を履修できますか。

令和6年度の授業計画は別紙1をご覧ください。

本校ホームページに「講義要領（シラバス）」を掲載しています。

Q7 学校の年間行事にはどんなものがありますか。

令和6年度主な学校行事(一部予定を含む)

学年始休業（春季休業）	4月1日～8日	入学試験・一般前期	11月14日
入学式	4月10日	四国地区意見発表会・愛媛県	12月11日
学生自治会総会	4月10日	卒業論文発表会（1学年も出席）	12月20日
専攻実習説明会	4月12日	冬季休業	12月24日～1月6日
オープンキャンパス	5月11日		
	6月8日	中国四国ブロック農業大学校	
	8月7日	プロジェクト発表会・鳥取県	
	8月21日		1月16日～17日
	10月26日	卒業論文提出期限	1月30日
	3月8日	全国農業大学校等プロジェクト	
等		発表会・意見発表会・東京都	
夏季休業	7月29日～9月16日		2月5日～7日
農学連スポーツ大会・愛媛県	10月9日	卒業式	3月4日
入学試験・推薦	9月12日	入学試験・一般後期	3月13日
専攻実習中間報告会・卒論計画発表会	10月22日	学年末休業（春季休業）	3月8日～31日
学生自治会収穫祭	10月26日、27日		

Q8 農業系以外の高校から入学しても、授業についていけますか。

令和6年4月現在の在校生は、73%が農業系高校出身、25%が農業系以外の高校出身、3%が大学等出身です。

本校に入学後、1年では一般教養科目や農業基礎などの入門的な科目から、次第に専門分野の科目履修が多くなるよう段階的なカリキュラムを組んでいます。

卒業までには、十分な農業の知識や技術が習得できます。

Q9 卒業論文はありますか。またどのような取組をされていますか。

別紙2をご覧ください。

《学生生活》

Q10 学校への通学はどのような公共交通機関はありますか。

高松琴平電気鉄道榎井駅から徒歩8分ほどです。JR琴平駅からは徒歩18分ほどです。

また、本校から400m程のところに三豊市がコミュニティバスを運行しており、三豊市内方面からの便もあります。

Q11 自動車を通学で使用することはできますか。また、駐車場はありますか。

十数台の駐車スペースはありますが、専攻実習に取り組む2年生の希望者が優先され、空きスペースがあれば1年生で通学不便の希望者が駐車することができます。希望者が多い場合は申請内容を考慮した選考で決定されます。

なお、本校近隣には民間の駐車場があります。

Q12 学生の昼食はどうしているのですか。

本校から徒歩圏内（昼休み）に、スーパーマーケット、コンビニ、飲食店があります。

Q13 サークル活動にはどのようなものがありますか。

四国内の農業大学校との交流行事として「農学連スポーツ大会」があります。全学生が出席して、試合への出場や応援をします。そのため、同大会種目である軟式野球部、バレーボール部、バドミントン部、卓球部のどれかに所属することとなります。

その他、同好会として、合気道、園芸、フットサルなどがあります。

Q14 自転車は持って行ったほうがいいですか。

果樹の実習農場が、本校から2km南方向に位置するため、後援会で自転車(12台)、ヘルメット(10個)を貸し出しています。

《進路・資格》

Q15 卒業後の進路状況はどうなっていますか。

自家農業、農業法人（創樹、エス.エス.ケイ、溝渕造園、カワフジなど）、研修（海外派遣研修、JAインターン）、公務員（高校実習助手（臨時的任用））、農林業団体（JA香川県、農業共済組合、森林組合、中部青果、穀物検定協会）、農業関連（さぬき市SA公社、香川三菱農機、西村ジョイなど）、その他企業

Q16 農業大学校から4年制大学への編入実績はどのようになっていますか。

本校卒業後、4年制大学の農業系学部への3年次編入が可能です。

Q17 卒業時及び在学中にはどのような資格が得られるのでしょうか。

本校は学校教育法上の専修学校であり、卒業生には「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。なお、在学中に取得可能な資格等の概要は、別紙3をご覧ください。

別紙1 授業計画

区分	教科名	履修時間		単位	区分	教科名	履修時間		単位			
		1年	2年				1年	2年				
共通科目	一般教養科目	くらしと法律	16		専門教育科目	花き園芸	1・2年草	16	1			
		くらしと経済					宿根草(キク)	16	1			
		キャリアデザイン	16				宿根草(カーネーション)	16	1			
		農村と文化	16				球根類	16	1			
		情報処理	32				鉢花栽培	16	1			
		マネーリテラシー	16				フラワーアレンジ	32	2			
		異文化コミュニケーション	24				花き養液栽培		16	1		
		小計	120					花壇苗栽培	16	1		
	基礎教育科目	農業基礎概論		32					洋ラン		16	1
		作物学		16					花き経営		24	1
		畜産概論		16					花き自主課題研修		32	2
		遺伝子資源活用概論		16					花き演習	20	64	5
		林業・造園概論		16					卒業論文		112	3
		植物防疫		16					農場実習(休暇中の10日を含む)	464		10
		雑草学		16					専攻実習(休暇中の10日を含む)		744	16
		土壌肥料		32					小計	628	1,024	49
		有機農業		16			果樹園芸	果樹概論	16		1	
		農業気象と環境		16				常緑果樹Ⅰ(カンキツ)	16		1	
		農業機械		16				常緑果樹Ⅰ(ピワ)	16		1	
		農畜産物流通				16		1	落葉果樹Ⅰ(ブドウ)	16		1
		農福連携				16		1	落葉果樹Ⅰ(キウイフルーツ)	16		1
		農業行政Ⅰ				16		1	落葉果樹Ⅰ(モモ)	16		1
		農業行政Ⅱ				16		1	落葉果樹Ⅰ(カキ)	16		1
		食品保蔵・加工学				16		1	整枝剪定	16		1
		農業土木と水利				16		1	常緑果樹Ⅱ(オリーブ)		16	1
		マーケティング論				16		1	落葉果樹Ⅱ(その他落葉果樹)		16	1
		マーケティング演習				16		1	果樹経営		16	1
		農業経営		32				2	果樹演習	20	68	5
		農業簿記		32				2	卒論課題演習		36	2
		労務管理				16		1	卒業論文		112	3
		就農・就業ガイダンスⅠ		32				2	農場実習(休暇中の10日を含む)	464		10
		就農・就業ガイダンスⅡ				20		1	専攻実習(休暇中の10日を含む)		744	16
		国際農業論		16			1	小計	628	1,024	49	
		農業協同組合		16			1	林業・造園緑化(1年) / 造園緑化(2年)	林業・造園概論Ⅱ		32	2
		農業法人と営農組織		16			1		樹木学Ⅰ		32	2
		スマート農業				16	1		森林科学概論		16	1
		GAP				16	1		造園学		24	1
		GAP演習				16	1		森林防災学		16	1
	農業基礎演習(農場実習のうち数)						造園特論			16	1	
	農業基礎実験		32			1	緑地環境計画			16	1	
	パソコン簿記演習					選択	造園材料			16	1	
	農業機械整備演習					32	1		庭木・緑化木管理		16	1
	生物学実験						デッサン・製図				16	1
	鳥獣害対策演習		16			1	造園施工				32	2
	森林演習		16			1	緑化植物				16	1
	農家実習Ⅰ(説明会、報告会含む)		76			4	造園計画設計				32	2
	農家実習Ⅱ(説明会、報告会含む)		76			4	景观デザイン				32	2
インターンシップ(選択)※		16	16	2	環境緑化演習				40	2		
学校行事		160	116	2	卒業論文				112	3		
	小計	728	328	47	農場実習(休暇中の10日を含む)	444		10				
	共通科目合計	848	328	54	専攻実習(休暇中の10日を含む)		744	16				
					小計	628	1,024	50				
専門教育科目	園芸3コース共通	園芸施設			16	1	畜産	家畜人工授精概論		16	1	
		園芸作物流通		16		1		家畜飼養		16	1	
		小計	16	16	2	家畜生理・解剖		48		3		
	野菜園芸	果菜類栽培		48		3		家畜育種		16	1	
		葉菜類栽培		32		2		畜産環境		16	1	
		根茎菜類栽培		32		2		乳用牛		16	1	
		野菜栽培機械		16		1		養豚		16	1	
		野菜新技術			16	1		肉用牛		16	1	
		野菜経営			24	1		養鶏		16	1	
		野菜養液栽培			16	1		家畜衛生			32	2
		野菜病害虫			16	1		受精卵移植概論			32	2
		野菜演習		20	64	5		飼料作物		16	1	
		卒論課題演習			16	1		畜産物加工		16	1	
		卒業論文				112		3	畜産経営		16	1
		農場実習(休暇中の5.5日を含む)		464		10		畜産物加工演習		32	2	
		専攻実習(休暇中の9日を含む)			744	16		畜産演習		24	1	
			小計	628	1,024	49		卒業論文			112	3
						農場実習(休暇中の10日を含む)	452		10			
					専攻実習(休暇中の10日を含む)		744	16				
					小計	628	1,024	50				

(注)「農業基礎演習」は農場実習の中で実習するため、履修時間の合計には含まない。

(注)「インターンシップ」は2年間を通じて自由に選択し、追加で単位を取得できるため、合計には含まない。

別紙2 令和5年度卒業論文

コース	氏名	卒業論文テーマ
野菜園芸	今田 一輝	スイートコーンの品種による草丈や糖度の違いについて
野菜園芸	梶尾 京伽	モロヘイヤの加工方法について
野菜園芸	坂口 峻	ネギの出荷調整における効率的な作業条件の検討
野菜園芸	高見 俊輔	アスパラガスの露地栽培の試みと有機栽培の可能性の検討
野菜園芸	長尾 遥	スイカの仕立て方が収量と品質に及ぼす影響
野菜園芸	中村 壮馬	剪定くずを利用した堆肥の施用が、野菜の生育及び収量に及ぼす影響
野菜園芸	中山 立希	アムスメロンの球肥大期の適正灌水量の調査
野菜園芸	西原 彩美	キャベツ栽培における有機質肥料の検討
野菜園芸	濱崎 みか	地温の違いがサツマイモの収量と品質に及ぼす影響及び品種による食味の差について
野菜園芸	本條 健吾	モロヘイヤの栽培における「おたすぎムギ」によるリビングマルチを行う際の播種時期の検討およびツールを用いた作物の生育予測システムの構築
野菜園芸	三好 智也	NNハウスに適したミニトマトの品種・栽培方法
野菜園芸	向井 慶太	イチゴの育苗ポットの違いが花芽分化に及ぼす影響について
野菜園芸	森田 亘琉	キュウリの仕立て方が収量や品質へ及ぼす影響
野菜園芸	横田 康平	ネギの価格変化に伴う商品の利益の変化
野菜園芸	横手 風香	ミニトマトの単為結果性品種を利用した作業性改善
花き園芸	石井 勇太	ラナンキュラス交配系統の品質調査
花き園芸	片岡 ころこ	新テッポウユリの新品種を利用した9月出荷の調査
花き園芸	西尾 空弥夏	ヒマワリ新規導入品種「グリーンヒル」の特性調査
花き園芸	西岡 虹花	トルコギキョウの9月出荷作型の検討
花き園芸	蓮井 渉太	ケイトウの新規導入品種の特性調査
果樹園芸	青井 大知	果樹園における雑草とその対策方法
果樹園芸	塩淵 一輝	ナシ「幸水」における環状剥皮が果実肥大と品質に及ぼす影響
果樹園芸	竹内 一真	規格外品キウイフルーツの加工による付加価値化
果樹園芸	森兼 礼有	ブドウの反射マルチの違いによる果実品質と雑草防除効果について
果樹園芸	藪下 尚樹	農大生が生まれて初めて農産物を販売してみたら
造園緑化	池田 直生	農大内の竹、廃材、落ち葉の利用
造園緑化	西村 匠馬	ケヤキを利用した堆肥づくり
造園緑化	松本 侑大	竹テントの作製
造園緑化	森川 紘気	校内の竹垣の改修
畜産	田中 明日実	水かけ装置を使った乳牛の暑熱対策
畜産	筒井 拓哉	群編成に伴う肥育豚の闘争要因と損耗度合の検証
畜産	山本 大晴	唐辛子に由来する天然色素添加物の給与が卵黄色等に及ぼす影響

別紙3 取得可能な資格の概要

種別	対象学年等	実施時期	試験場所
危険物取扱者試験 (乙種第4類)	全学年	6、11、2月	高松市
毒物劇物取扱者試験 (一般)	全学年	7月	高松市
農業簿記検定	全学年	7、11月	高松市
日本農業技術検定試験 (2, 3級)	全学年	7、12月	学校内
小型車両系建設機械特別教育 (整地・掘削, 3t未満)	全学年	随時	高松市 丸亀市
小型移動式クレーン技能講習 (5t未満)	全学年	随時	高松市 多度津町
玉掛け技能講習 (1t以上)	全学年	随時	高松市 多度津町
フォークリフト技能講習 (1t以上)	全学年	随時	高松市 多度津町
チェンソー作業従事者 特別教育	全学年	8、9月	高松市
刈払機取扱作業従事者 安全衛生教育	1学年中心	5月	学校内
造園技能士 (3級)	造園緑化コース の1学年	7、1月	さぬき市 高松市
造園技能士 (2級)	造園緑化コース の2学年	8、9月	高松市
大型特殊自動車・けん引免許 (農耕車限定)	2学年	5、7、1月	学校内
狩猟免許(わな猟、網猟)試験	全学年	7月、3月	高松市
家畜人工授精師免許講習	全学年	7、8、9月	学校内 畜試